

豊岡には、靴産業のように歴史のある産業や工場誘致によってできた会社、得意な分野で技術を磨いてきた会社など、さまざまな種類のものづくりの会社があります。

これらの会社が、豊岡の経済や市民の暮らしを支え、地域の発展の原動力となっています。

1. 技術は最高、世界で輝くものづくり

豊岡には、世界的に通用する技術や製品に関わる会社があります。

(1) 品質は世界最高

オートバイのホイール

世界的なオートバイレースで使われる世界最高品質のホイールを開発し、製造している会社があります。

安全性や性能についての、レース業界の様々な厳しい要求に対応できる柔軟な発想と高い技術により、信頼を得ています。

(2) 高級ブランドからも 選ばれるハンガー

創業以来70年にわたり、木製ハンガーを製造しているハンガー専門の会社があります。蓄積されたハンガーづくりのノウハウから美しいデザインと機能性を備えた木製ハンガーが作られています。その品質は世界最高水準で、みんなが知っている世界的に有名な高級衣料ブランドでも使われています。また、木製ハンガーだからできるハンガーのリフォームにも対応するなど、環境にも配慮した取組も会社の価値を高めています。

【(株) ビトーアールアンドディー】

世界一のレーシングパーツサプライヤー(供給者)を目指し、豊岡の小さな企業を世界一の会社になりたいです。



【中田工芸(株)】

日本のファッションの中心である東京・青山にショールームを持ち、国内のみならず、海外からも多くの人々がハンガーを求めて訪れます。



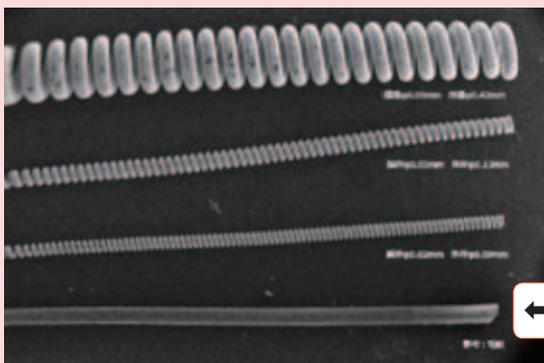
(3) 見えないけれどなくてはならないバネ

世界最小クラスの精密バネの製造をしている会社や、JAXA H-II Bロケットや東京スカイツリーに使われた特殊バネの設計・製造をしている会社があります。

小さいバネを製造している会社は、光学機器、医療機器、情報通信機器、産業機器、自動車・家電製品、電子機器などに必要な精密バネの製造について高い技術をもっています。できあがった完成品の中でどこに使われているのかわからないくらいですが、そのバネがないとその製品は機能しないのです。

大きいバネを得意とする会社もあります。ここでは、完全な受注生産で平均5個という少ない注文でも引き受けるという生産体制で、ロケットや高層建築物の免震用の特殊バネの製造を行っています。世界に一つしかないものに必要なバネの供給を豊岡の会社が担っています。

直径が1ミリ以下の精密なバネ



提供：(株) 東豊精工

人が入れるくらいの大きなバネ



提供：東海バネ工業(株)

トピックス

【東京スカイツリー】
頂上には風による揺れを防ぐための装置があり、バネはその要の部品として使われています。



【JAXA H-II Bロケット】
宇宙ステーションに必要な物資を運ぶ補給機「こうのとりの」を打ち上げるためのJAXA H-II Bロケットのエンジンなどの部品に豊岡の会社のバネが使われています。打ち上げの衝撃に耐え、マイナス270度の宇宙空間でも正常に機能することが求められ、その条件を満たすバネを作っているのが豊岡の会社です。



提供：宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

(4) さまざまな分野のものづくり

市内には、金属やプラスチックの加工技術ほか、いろいろな分野で必要な部品の開発・製造や、地球環境保全、温暖化対策で注目を集めている太陽光パネルを製造する会社なども立地しています。

これらの会社では企画や技術設計、職人、世界の企業を相手にした販売の交渉など専門の能力をいかして働いている人がいます。

但馬産業大賞「キラリと世界へ輝く技術部門」受賞者（豊岡市内事業所）

年度	事業所名	受賞内容
19	(株) ビトーアールアンドディー	オートバイホイールを、マグネシウムを使った世界で初めての方法で製造・販売した 軽くて強い製品は世界中のレースで使われている
19	中田工芸 (株)	高級衣料品店などで使われる木製ハンガーを製造・販売し、国内で最も使われている
20	但馬ティエスケイ (株)	室温で金属素材を型枠に押しつける方法で、ほかの会社では難しい深い穴のある製品を作り、たくさんの自動車に使われている
20	(株) オーク	使い終わったタイヤを利用して地面の中に壁を作り、電車などが走るときの地面の揺れを防ぐ方法を開発した
21	(株) 東豊精工	髪の毛の太さほどの世界最小クラスの精密ばねを開発・量産化し、電子機器や医療機器などを確実に動かす技術に役立っている
23	(株) 誠工社	機械の中を紙幣や乗車券など薄いものを移動させる高い技術を持ち、多数の部品をコンピュータ管理して製品の組立に工夫している
25	東海バネ工業 (株) 豊岡神美台工場	職人の技を必要としていた大型ばね作りの機械化に成功し、その製品はロケットや東京スカイツリー、明石海峡大橋などの重要な部分にも使われている
26	(株) 川嶋建設	木造の建物を地震の揺れから守るため、鉄より強い炭素繊維という素材を使った工事で早く安くゴミの出ない方法を開発した
27	新生化学工業 (株) 豊岡事業部	医療、電池、車など様々なところに使われるプラスチック部品のうち、特に中身をもらさない精密な製品作りを得意としている その技術を使い、2つの違う材料を組み合わせた製品を大量に作ることに成功した

【但馬産業大賞】平成19年度～ 兵庫県但馬県民局

ほかに「観光・交流資源を活かしたツーリズム部門」「新分野へチャレンジする経営革新部門」

「人と自然の共生する事業部門」がある



少し前までは、環境を守ると経済は発展しないと考えられていました。豊岡ではコウノトリ野生復帰に取り組む過程で、環境保全を優先し、経済活動を制限するのではなく、「コウノトリもすすめる豊かなまちづくりを長く続けていくために、環境が良くなって、もうかる事業に取り組む会社が増え、まちの経済が支えられ、さらに環境が良くなる。そして、そのことを誇りとしてくらせるまちをつくらう」という考え方を示し、市内の会社で行われている環境が良くなると同時に会社ももうかる事業を認定し、紹介しています。

コウノトリの野生復帰をあきらめずに一步一步進むことで成し遂げてきた豊岡から、この考え方を世界に発信することはとても説得力があります。

これからもいろいろなアイデアや工夫で環境に良い経済活動を広げていくことができれば、小さなまちでも世界の人々に尊敬されるまちになることができます。それを可能にするのは、豊岡で働く人たちです。



ペットボトルを再利用したポリ袋製造

【コウノトリ育むお米】の加工品

「コウノトリ育む農法」で作られたお米や農産物を原料としたお菓子や食品をつくる会社が増えています。これらの商品が売れば、「コウノトリ育む農法」が広がり田んぼの環境が良くなります。



山宮地場ソーラー発電所
(市内産の太陽光パネルを使用)

【豊岡の会社を応援しよう】

市内の農産物や市内でできたものを、市民が買って利用することは、運搬にかかるエネルギーの削減になると同時に、市内の農家や会社の安定した経営にもつながります。市民の買物の行動が市内の農家や会社を支えることができます。環境に優しい市民がたくさん増えれば市内の産業が守られます。

豊岡市環境経済認定事業 (2016年11月現在)

 生きもののいっばいの環境を守る ● 地球温暖化への対策

(項目別)

 森林の保全  廃棄物（ごみ）の削減  その他

会社名	事業の内容
(有)ティーアンドエムズ	 「コウノトリ育むお米」の米粉を使用したスイーツの製造
コウノトリ羽ばたく会(株)	 「コウノトリ育むお米」の米粉、加工品の開発、販売
丸萬中源(株)	 「コウノトリ育むお米」の米粉、米麺の企画・販売
中筋生きがいクラブ	 「コウノトリ育む農法」のしょうがの加工品製造・販売
社会福祉法人とよおか福祉会	 「コウノトリ育むお米」の米粉を使用したミニカステラの製造
ブルーランジュリーモン	 「コウノトリ育むお米」の米粉を使用したパン・スイーツの製造
角谷製菓(株)	 「コウノトリ育むお米」を使用したおこわ、せんべいの製造・販売
(有)和平(豊岡わこう堂)	 「コウノトリ育むお米」を使用した和洋菓子の製造
二方蒲鉾(株)	 「コウノトリ育むお米」を使用したかまぼこやちくわなどの製造
(有)花房商店	 「コウノトリ育む農法」の米・大豆を使用したしょうゆ・みそ・こうじ製品の製造
植村食品	 「コウノトリ育むお米」を使用したこんにゃくの製造
観音寺みそ工房	 「コウノトリ育む農法」の大豆を使用したお茶漬けみその製造・販売
人、自然にやさしいお店。 moko	 「コウノトリ育む農法」の古代米を使用した石鹸の製造
(株)お米のきたむら	 「コウノトリ育むお米」を使用した美容用品等の開発・販売
(株)魚飯菜	 「コウノトリの舞」野菜等地元生鮮食品・加工品の販売
(株)ウノフク	 オーガニックコットンを使用した鞆の製造
(株)Mother Earth	 「コウノトリ育む農法」の食材を使用した食事を提供する宿泊業
鴻舞園(株)	 使われなくなった田んぼを利用したドジョウの養殖
カネカソーラーテック(株)	● 太陽電池の製造
(株)キヅキ商会	● 空いている土地を利用した太陽光発電システムの設置
OESアクアフォーコ(株)	● 省エネ型水処理施設の設計・製造・施工
(株)メイワボックス	●  植物(サトウキビ)を原料としたポリエチレンを使用した洗剤やシャンプーの包装用フィルムの製造
(株)北近畿緑地建設	● 建物の屋根や壁、窓ガラスの断熱塗料の塗布
(有)総美	● 建物の屋根や壁、窓ガラスの遮熱断熱塗料やコート剤塗布
(株)ラピスジャパン	● オリジナルLED照明の企画・開発・販売
合資会社 中村組	● 自然エネルギーを効率よく利用し、電気などの化石エネルギーをなるべく使わなくてすむ住宅の建設
(有)里やま工房	●  国産木材を使用し、自然エネルギーを効率よく利用し、電気などの化石エネルギーをなるべく使わなくてすむ住宅の建設

会社名	事業の内容
(株)豊岡ペレット	  市内の間伐した木を材料としたペレットの製造
(株)SUNWEST	  ペレットストーブの販売
神鍋白炭工房(株)	  市内の間伐した木で炭を製造
(有)ナカニシグローバル	  間伐した木を使用した木質チップ・ペレットの製造
(株)谷垣組	  土壌改良や肥料用の竹パウダーの製造
(株)エム	  豊岡産木質ペレットを熱源としたトマトのハウス栽培
(株)ウッドプラン	 豊岡産の木材を使用した高級木製ブロックの製造  建物の建築で出た木材の残りで家具や生活小物の製造
川中建築	  木材の端材と河川敷等に生えている葦を原料とした木質ペレットの製造
(株)北星社	  水なし印刷ほか環境に配慮した印刷物の作成
みのる産業(株)	 おがくずでしいたけを栽培後、使用済みのおがくずを肥料として活用
(株)オーク	  廃タイヤを利用して振動の伝わりを防止する工事技術
(株)オートグラント	  リサイクルビニール生地を使った車検証入れの製造
企業組合労協センター事業団 但馬地域福祉事業所	  使い終わった食用油を利用したバイオディーゼル燃料の製造販売
(株)川嶋建設	 鉄の10倍の強度の炭素繊維の利用による木造建物の耐震工事
(株)中川工務店	 建物外部の木造建物耐震補強工事
丸真化学工業(株)	  使用済みのペットボトルを利用したポリ袋の製造   米ぬかを混ぜたポリ袋の製造
石井鞆工業(株)	 鞆製造で出た端材を利用した競馬用鞍の製造
(有)うりた重機興業	 刈った草、剪定した枝、伐採した竹などを原料にした土壌改良材の製造
(株)豊岡紙器	 ダンボールシートの端材を利用した下敷材等の製造
たくみ工芸	 藤の皮の再利用による藤かごなどの製造
(株)中村建設ナカフサ	 工事で使用したコンクリート用の木製型枠を燃料として再利用するためのチップ加工
(株)タニー・パック	 資源米、米ぬかを使用したバイオポリ袋の製造
クローバー資源開発(株)	  建設現場などで発生する土を再利用するために選別・改良
(有)衣川クリーニング	 古い鞆の修理、クリーニング
(株)絆工房	 廃液の発生しないプリント方法によるオリジナルTシャツの製造
八紀産業(株)	 食品加工時の排水に含まれるでんぷんなどの有機物を分離して固めることができる薬剤の製造
マリヤ医科興業(株)	 水産加工、食品加工や畜産業で発生する廃水の浄化装置の製造
(株)東豊精工	 ばねの熱処理を行う電気炉の熱効率を高める装置、においや煙を分解・浄化する装置の開発・製造・販売
(株)クーヴ	 会社のISO14001、エコアクション21等の認証取得の支援

3. 豊岡の気候風土から生まれたものづくり



P.15

(1) 杞柳産業



P.71

■起こり

豊岡の杞柳産業の起源は、垂仁天皇の時代に日本に帰化し、但馬の国を拓いたと言われる天日槍が技術を伝えたという説があります。

また、奈良時代には奈良正倉院の御物に柳箱が奉納されたという記録があり、現在も正倉院に保管されています。

■産地の形成

最初は、円山川の川原に自生していた「コリヤナギ」でかごを編むことから始まり、江戸時代に「行李」が生まれ、代々の藩主が行李の生産をすすめたことから「柳行李」の生産が豊岡の産業として形を整え、全国に知られるようになりました。

■外国にも進出

明治に入ると、後の鞆産業につながる「行李鞆」が博覧会に出品されるなど、パリやシカゴなどの

外国も含め、国内外の博覧会に出品し、技術を誇っていました。

最盛期の大正時代には、アメリカなどにも輸出されるほどになり、豊岡を中心に城崎や出石一帯で5000人以上の人が生産に携わっていました。

■時代の流れ

しかし、1921年を境として、世界的な不況や戦争、北但大震災、円山川の改修などの影響で、だんだん衰退していきました。

昭和の初めには、分業体制と販売網が整っていました。これを利用し、このころから始まる鞆の生産や流通へとつながっていきました。

その後、戦争の物資として注文がたくさんあった時期もありましたが、戦争が終わった頃には杞柳製品の生産は最盛期の4分の1ほどになっていました。



なぜ豊岡で杞柳産業が発展したのでしょうか？

昔の円山川は、たびたび氾濫していたので、豊岡盆地は肥沃な土が堆積し、粘り強く、良いコリヤナギが育つ環境でした。縁に使う竹も容易に手に入り、豊岡でほとんどの材料が手に入りました。

また、農業ができない冬の間の農家の人々の仕事として、たくさんの人たちが生産に携わっていました。豊岡の地形や風土がもたらした産業といえます。



「杞柳」とは柳の種類で「コリヤナギ」と呼ぶ落葉灌木のこと。一般的な柳の木ではなく、茎から数十本の芽を出し、高さ1～3mに伸びたもの。

戦後は、買い物かごなど、生活の中で実用性の高い容器として使われていましたが、時代の流れの中で、安い輸入製品や、プラスチック類が普及し、行李やかごの需要が急激に減り、生産者も廃業や転業が急速に進みました。

■伝統工芸として受け継ぐ

1992年に「豊岡杞柳細工」は国の伝統的工芸品の指定を受け、国や県、市の支援を受けて技術・技法の伝承、後継者の育成や新製品の開発などに取り組むことになりました。

現在では、柳行李の職人は数人となりましたが、かごの杞柳細工の職人により女性用のバッグなどの生産を行っています。

1992年「豊岡杞柳細工」国の伝統的工芸品に指定（柳行李、小行李、柳・籐籠）、伝統工芸士 14名（2016年現在）



【柳まつり】

1935年 震災復興が一段落し、「柳の宮」（小田井神社内）を再建したことをきっかけに現在も受け継がれている「柳まつり」が始まった。



①



②

【柳行李と柳かご】

● 柳行李は、コリヤナギを麻糸で編んでいきます。①

● 柳かごは、「たてり」（芯）に裂いて薄くしたコリヤナギを編んでいきます。②

インタビュー



柳行李職人 たくみ工芸
伝統工芸士
寺内 卓巳さん

実家がかご作りの仕事をしていたので、子どものころから、面白い仕事だと思っていました。短大卒業後実家に戻り、父母の元で働いた後、独立しました。1994年からは柳行李を編むために、数少なくなっていた職人さんの元で修行し、やっとここ数年、価値が認められるようになり、苦勞した甲斐があったと思います。生地を編むことは何年たっても難しいですが、次の世代にこの技術を伝えていきたいです。



(2) 鞆産業

■柳行李から鞆へ

明治時代に入ると、鉄道の開通や着物から洋服の時代に入るなど、時代の変化の中で、人々の生活様式が変わっていきました。

1881年に開催された国内博覧会で、柳行李を改良し、3本革バンドをつけた「行李鞆」が出品されたのが豊岡の鞆産業の起こりだと考えられています。

大正に入り、「行李鞆」にウルシを塗って鍵をつけた「新型鞆」が作られ、これが豊岡が「鞆」として初めて売り出した商品とされています。

■鞆の進化

昭和に入り、素材をファイバーに変えた鞆の商品化に成功し、柳行李の全国的な販売網に乗せて売り出されました。

戦争が終わり、1949年には初めて杞柳製品に代わってファイバー鞆が豊岡町の工業製品の生産高の1位となり、このころが杞柳産業から鞆産業への転換期となりました。

1953年ごろには、鞆の素材としてビニールレザーが出始め、軽い素材でできたケース類の生産が始まり、ミシンで縫う技術が導入されました。

■世界へ進出した豊岡の鞆

スーツケースを改良したビニールオープンケースはアメリカなどにも輸出され、1955年から1960年の5年間で工場数が2倍、従事者数が約1.5倍、生産高が8倍になりました。豊岡だけでは生産が間に合わないため、東は福井県小浜市、西は鳥取県日野郡、南は小野市まで外注先が広がっていました。

1968年には、輸出の最盛期を迎えましたが、1971年のニクソンショック、その後のオイルショックが続き、輸出は激減しました。

この間に、塩化ビニールや合成皮革、ファスナーなどが開発・改良され、素材に合わせたミシンの改良も進み、品質が向上していきました。

■時代と鞆産業

高度経済成長期は順調に生産高が伸び、東京、大阪、名古屋、豊岡と国内の鞆の4大産地の一つとして成長し、平成の初めに約280億円の生産高を記録しましたが、1990年をピークに年々生産高が減少し、2001年には100億円をきりました。

豊岡では、OEM生産（※P.113参照）が主流で、消費者の方には豊岡で作られていることがわかりませんでした。

また、豊岡に生産を委託していた大手のメーカーは、安い人件費を求めて、韓国や中国などの工場に生産拠点を移していったため、豊岡への委託生産が減っていったのです。

■ブランド化に向けて

豊岡の鞆づくりには、長い歴史と確かな技術があります。そこで、豊岡製の鞆のブランド化を図ろうという動きが出てきました。2006年に豊岡の鞆メーカーの組合で、「豊岡鞆」を地域団体商標として登録し、各鞆メーカーのオリジナル鞆を生産するようになりました。

同じ頃から、宵田商店街で豊岡の特産品を活かし、商店街を「カバンストリート」として活性化させようという取組が始まりました。

今では、「カバンストリート」に行けば「豊岡鞆」が買えるようになり、2014年にオープンした「トヨオカ カバン アルチザン アベニュー」では鞆職人の養成スクールが始まるなど、新しい時代に入ってきています。生産高も100億円を超えるようになりました。

■鞆産地豊岡の未来

時代の変化に合わせて、鞆関係の人たちが努力し、革新を繰り返して今があります。時代が変わる時に次のチャンスがあります。将来、豊岡から世界的に有名な鞆ブランドが誕生することも夢ではありません。



【用語解説】

『OEM生産』

相手先企業のブランドをつけて販売される製品を受注生産すること。(製造した鞆メーカーの名前が表示されない。)

インタビュー



世界的な賞を受賞した
豊岡の鞆デザイナー
㈱ケイ・ディア代表取締役社長
由利 佳一郎 氏

生まれ育った豊岡は、鞆づくりの歴史があり、主な産業であることがきっかけで鞆のデザインをするようになりました。歴史からいろいろなことを創造し、0(ゼロ)から1(イチ)を生み出し、形にできることが楽しい。また、鞆はいろいろな人が関わってみんなのチームワークで出来上がる。それができる豊岡を誇りに思います。これからも、ここでしかできない「オンリーワン」のものづくりに取り組んでいきたいです。2009年「iFデザイン賞」※受賞。

※ドイツを拠点とする「インダストリー・フォーラム・デザイン・ハノーファー (iF)」が主催する世界的に最も権威のあるデザイン賞

杞柳産業から鞆産業への移り変わり

時代・西暦	時代背景	杞柳産業	鞆産業
弥生		天日槍が柳編みの技術を伝える (言い伝え)	
奈良 710~794		奈良正倉院御物として保存されている柳箱は、但馬の国から上納されたといわれている	
戦国	豊岡、出石に城下町ができる	柳の栽培の記録	
江戸 1603 ~ 1868	豊岡藩が杞柳産業を奨励	1635 「行李」が創案される  柳行李 飯行李	
明治 1868 ~ 1912	1872 郵便局ができる (洋服が普及し始める) 日清・日露戦争 1909 豊岡に電灯がつく 1912 山陰本線全線開通	 大正バスケット 1909 柳・籐のバスケット (大正バスケット) が創案される	 行李鞆 1881 「行李鞆」が博覧会に出品される
大正 1912 ~ 1926	1921 コウノトリの生息地が 天然記念物に指定される 1923 関東大震災 1925 北但大震災	1919 バスケット型柳行李鞆の實用新 案登録 乳母車、家具類、果物籠、花籠、 パン籠、洗濯籠、ベビー籠、び くなどが作られ、輸出される	1917 「新型鞆」(三本革バン ド締め柳行李にウルシ 塗り、錠前をつけたも の)の発売開始  新型鞆
昭和 1926 ~ 1989	1926 豊岡最初の自家用車の 登場 1928 豊岡町新庁舎完成 世界大恐慌 1930 日本で国産初の電気洗 濯機、電気冷蔵庫が発売される 1932 国産初のファスナーが 「チャック」の名で発売される		1928 ファイバー鞆の登場  ファイバー鞆

時代・西暦	時代背景	杞柳産業	鞆産業
昭和	1935 「柳の宮」再建 柳まつりが始まる 日中戦争（1937～1945） 太平洋戦争（1941～1945）	軍用行李、飯行李の生産（1941～1945）  サンマーケース	布団袋 軍用ファイバー鞆
	1950 豊岡市発足 朝鮮戦争勃発（特需景気） ボストンバッグ、手提げ鞆などの一般鞆の生産再開	1949 「サンマーケース」ラッカー・合成樹脂塗装の杞柳製品の生産	(鞆産業隆盛期に入る)
1926 ～ 1989	テレビ放送の開始	イタリア編み、板枠式、アルミ線などのバスケットが開発され流行する	1952 塩化ビニールレザーの鞆の生産始まる ニューブライトケース 
	高度経済成長期（1955～1973） 1956 コウノトリが国の特別天然記念物に指定される 1957 旧豊岡市内電話が自動式になる		スマートケース 
	1960 カラーテレビ放送 人工合成皮革が鞆素材として伸びる	コリヤナギや籐以外の素材を使用した家具、小物照明器具等の室内装飾品の生産が盛んになる（1963） 	ビニールオープンケース スマイルケース 木枠スーツケース1本手 トレンケース（化粧品ケース） 和装ケース スターケース ビニールボストンバッグ ボンサック エレガントケース キャディバッグ シューズバッグ
1964 東京オリンピック 東海道新幹線開通 海外旅行自由化			

時代・西暦	時代背景	杞柳産業	鞆産業
昭和 1926 ～ 1989	1966 人工皮革の出現		
	1970 日本万国博覧会 (大阪万博) 1973 第1次オイルショック 1976 宅急便の開始	手提げかごからショルダーバッグ、ハンドバックタイプに広がる (1977) レジャー・リゾート・タウン用など多様な用途の籠の生産 (1981)	マジソンバッグ キャスター付スキーバッグ ガーメントバッグ キャスター付きポストン ラケットケース
	バブル景気 (1986～1991)		
平成 1989 ～		1992 「豊岡杞柳細工」が国の伝統的工芸品に指定される 	ビジネスバッグ
	1994 但馬・理想の都の祭典 但馬空港の開港	1993 後継者育成のための編組教室を開始し、伝統工芸士の養成を始める 1994 伝統工芸士として10名が認定を受ける	1994 「豊岡・世界のかばん博 '94in ひょうご」開催
	1995 ウィンドウズ 95 発売 (インターネットの時代へ)		
	2005 新豊岡市誕生		
	宵田カバンストリート	2007 「豊岡杞柳細工」 地域団体商標登録  KIRYU	2006 「豊岡鞆」地域 団体商標登録 
2014 トヨオカ アルチザン アベニュー オープン		現在の豊岡鞆	
		2013 鞆縫製者 トレーニングセンター の開設	
		女性用かごバッグ	

4. 豊岡の暮らしを支えてきた伝統的なものづくり

豊岡の気候風土、身近な資源や時代の生活様式などに合わせた豊岡固有のものづくりが行われてきました。

時代の流れの中で、今では携わる人が少なくなったものもありますが、まちの歴史や今につながる元になった大切な産業として、引き継いでいきたいものばかりです。



籠目小鳥細工花瓶
明治時代後半 友田安清 作

(1) 出石焼



P.28

出石焼は、垂仁天皇時代に天日槍が陶士を従えて但馬出石に到来し、永住の地と定め、衣食住に必要な食器類を焼いたことに始まったと伝えられています。

現在の出石焼に結びつく始まりは、約230年以上も前、1784年（江戸時代後期）に出石郡細見村（現在の出石町細見）で、伊豆屋弥左衛門という人による土焼窯の開設というのが通説となっています。

最初は土焼（陶器）から始まり、現代の白い磁器に移ったのは、いくつかの記録から、始まりから約5年から10年後であろうと推測されています。

また、現在の出石焼の主原料である「柿谷陶石」が1800年ごろに発見されました。このころは、藩の直営で生産していたそうです。

インタビュー



出石焼の職人
虹洋陶苑
山本 和則 さん

父親が焼き物の家系で育ったので、子どもの時から自分もその道に進むと思っていました。親からは反対されましたが、いずれは帰ってくるつもりで京都の学校や窯元で修行をしました。この仕事はものづくりなので、お客さんが求めているものを作るのと、自分がしたい表現のバランスが難しいところです。磁器にこだわって作っていても表現は無限に近いのが面白いと感じています。まだまだいろんなことにチャレンジして表現者であり続けたいと思っています。

出石焼に大きな影響を与えたのが、1876年に設立された「^{えいしんしゃ}盈進社」です。現在の有田焼の産地から職人を招くなど、技術の向上を進め、^{はくらん}パリ博覧会や東京の博覧会に出品するなど^{はくじ}白磁の出石焼を有名にしました。

その後、明治から昭和にかけて、県が試験所を設置するなど、出石焼の改良等も試みられました。

近年では、1980年に国の伝統的工芸品に指定されました。現在では、^{すうけん かまもと}数軒の窯元で、伝統技法を活かしながら工芸品、花器、茶器、^{ぞうとう}贈答品、^{みやげ}お土産品などの製造が行われています。



【近年の出石焼の特徴】

白い磁器の表面を削って、菊の花などを彫り込んだ花器や茶器

【出石陶石】

焼いた後の色がとても白い良質の原料で、柿谷石、谷山石、飛谷石が知られている。「白すぎる白色」が出石原石（柿谷陶石）の特徴。主な構成鉱物：トスダイト、石英、絹雲母、カオリナイト

（2）城崎麦わら細工

城崎麦わら細工は、今から約300年前（1720年ごろ）に、鳥取県から^{とうじ}湯治に来ていた「^{はんしち}半七」という人が、竹笛やコマなどに赤・青・黄色に着色をした麦わらを貼って売り出したのが始まりと言われています。

初期の麦わら細工は、^{ようち}幼稚な作品が多く、商品としての価値は低かったものの、約150年前（1870年ごろ）に高名な画家が相次いで城崎を訪れ、^{おどず}麦わら細工の図案や^{えが}下絵を描いたことで、^{ひやく}飛躍的に芸術性の高い作品がつくられるようになりました。

【シーボルトコレクション】

江戸時代後期に来日したドイツ人の医師シーボルト（1796～1866）は、本業以外で、日本に関する自然・人文両面からの研究をしていた人です。

彼が日本に来たときに集めたたくさんの日本の文物が今でもヨーロッパのいくつかの都市に保存されています。

城崎麦わら細工も、オランダのライデン国立民俗学博物館とドイツの五大陸博物館に保存展示されています。

1925年の北但大震災では麦わら細工を含む貴重な郷土資料が失われてしまいましたが、遠い外国で大切に保管されています。

「城崎麦わら細工伝承館」には復刻されたシーボルトコレクションが展示されています。



復刻されたシーボルトコレクション

現在では、兵庫県の伝統的工芸品に指定され、高い技術と芸術性を備えた素晴らしい作品が作られています。

ただ、細かく手間のかかる手作業の仕事で量産できないため、後継者が減少し、現在では数名の職人さんがおられるだけになってしまいました。

まちの人たちは、日本でも城崎にしか残っていない美しい工芸品の技術・技法を残そうと、市民や観光客を対象とした体験講座などを行っています。



麦わら細工の技法

染めた麦わらを細かくさいて、花や鳥などの模様を桐箱などに貼り付けたもの。

材料：ハダカオオムギ

インタビュー



城崎麦わら細工職人
かみや民芸店
かみや 神谷 俊彰 さん

初めて作品を作ったのは中学校のクラブ活動でした。元々は、親の仕事^つを継ぐ気持ちはありませんでしたが、都会に出て帰ってきてからは、小物の手伝いから関わるようになり、技術は職人の先生方から教えました。時代に合わせて新製品を作りはじめていますが、売れた時は自分の作ったものが認められたということなので、一番うれしいです。他にもいろいろな製品を考えているのでこれからも挑戦^{ちようせん}したいと考えています。

城崎小学校の卒業制作を毎年手伝っています。将来有望な子が毎年いるし、自分にはない発想が出てくるので面白く、勉強になっています。

(3) 但馬ちりめん



P.30・32

但東の絹織物の生産は、今から約200年前（文化年間）、現京丹後市峰山町から現豊岡市但東町中山に移入され、始まったと伝えられています。

現在でも、京丹後市は「丹後ちりめん」の産地として全国的に有名ですが、隣接している但東町も湿度が高く、降水量の多い気候風土は絹織物の

生産に適していたことや、丹後とは人的、物的交流が盛んだったこと、絹織物の需要が増える中で、農村地域の豊富な労働力を求めて移入されたと推測されます。

明治時代までは、但馬、丹波、丹後では養蚕が盛んで、生糸も地元で調達し、織る作業は技術が必要な手機（糸を調整したり、動かすのは全て人の手によって操作する織機）で行われていました。

明治の終わりから大正の初めにかけて、織機が自動化され生産が増えました。

1935年ごろには、当時の資母村の産業の中で、米の生産、養蚕業に続く産業となり、組合も組織されるようになりました。

戦争が始まると、贅沢品の規制や織機の供出などの影響を受けましたが、戦争が終わり、日本国内の生活が安定すると、着物の需要が増加し、1965年から1975年にかけては、但東町の基幹産業となっていました。当時は、まちのあっちこっちから織機の動く音が聞こえていました。

しかし、1970年代に入り、オイルショックや着物離れ、生糸の輸入の一元化、安価な韓国産生糸や製品の輸入増、織機の共同廃棄事業による生産調整などにより、国内の織物業は衰退し、但馬ちりめんの産地も同様に生産量、生産者が減っていきました。

現在では、織物業に従事する人が少なくなりましたが、絹織物の産地であったことをまちのシンボルとして、シルク温泉などにその歴史を伝える名前が残されています。

今後、2020年の東京オリンピックの開催に向けて、日本文化に注目が集まる中、「きもの」が再評価され、きものを着る人が増えることが期待されます。



織機



縮緬（ちりめん）

享保年間に始まったしぼ（細いしわ）をつけた高級な絹織物

紋織、綾織

世界に誇れる魅力的なまち

各地域の魅力を紹介しているよ。



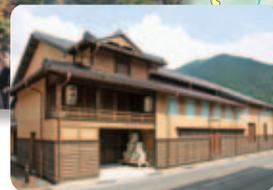
P.129



P.127



P.125



P.133



P.123



P.135



P.138



第1編 ジオパーク

第2編 コウノトリ

資料

第3編 産業・文化

世界中の国と地域から
ちいき
たくさんの方が来ているよ

※城崎温泉駅前「インフォメーションカウンター」における
アンケート調査結果より（2016年5月～10月）

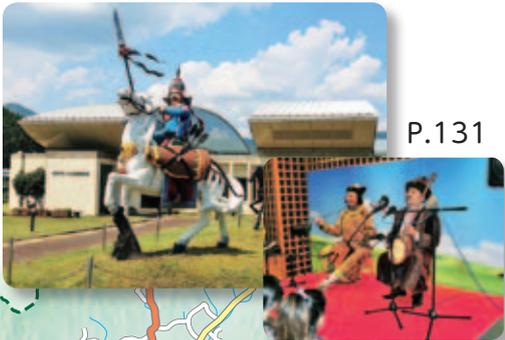


第1編 ジオパーク

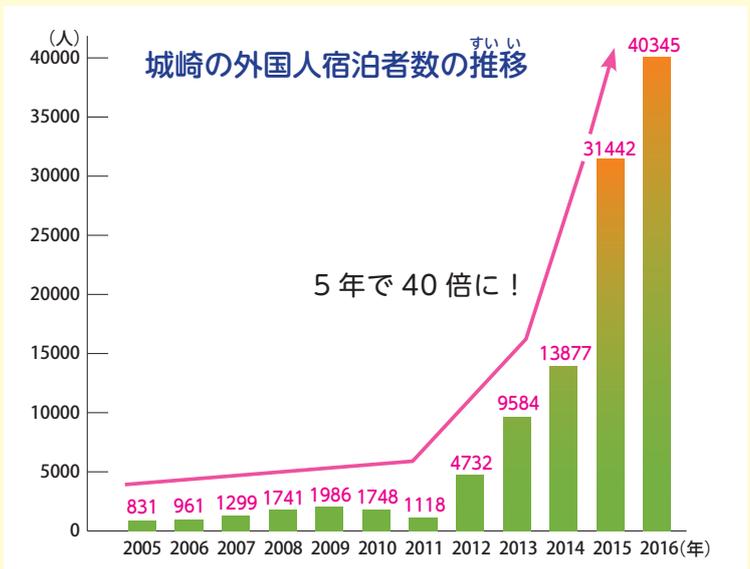
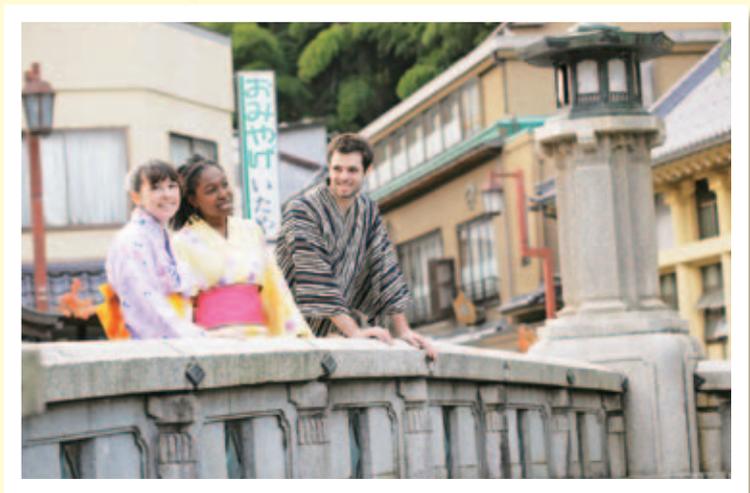
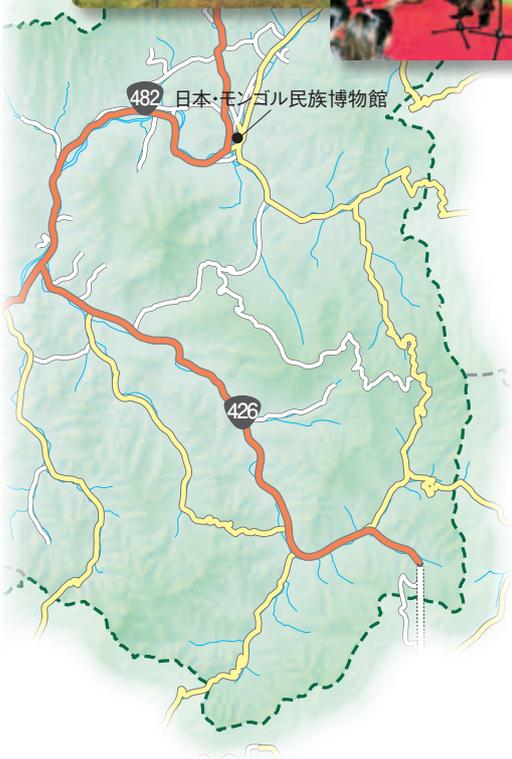
第2編 コウノトリ

資料

第3編 産業・文化



P.131





城崎温泉街のまちなみ

城崎地域には、約1300年もの歴史をもつ城崎温泉や豊岡盆地や日本海を見渡すことができる来日岳、1つだけ願いをかなえてくれる鼻かけ地蔵などがあります。特に城崎温泉には、京阪神をはじめ、国内外から多くの人々が観光にやって来ます。



一の湯

(1) 城崎温泉ってどんなところ？

現在は、美しいまちなみがみられる城崎温泉街ですが、1925年に起きた北但大震災で、火事によりほぼ完全に灰になりました。しかし、その後に城崎は復興しました。道幅、川幅を広げてくらしやすくし、まちの所々に、将来火が出ても広がることを食い止める「火ぶせ壁」の機能をもたせた建物を建てました。旅館などの建物も、以前の日本風の姿を守り、木造3階建の温泉街を復活させました。

この建物が今も残り約70軒近くの旅館が大谿川沿いを中心にのきを連れ、柳や桜並木、太鼓橋と合わせて美しいまちなみをつくりだしています。まちの中には、「一の湯」「鴻の湯」「御所の湯」など7つの外湯があり、浴衣を着て外湯めぐりを楽しむ人たちに

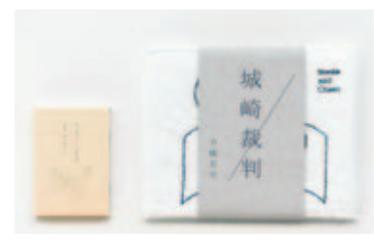


だんじり祭り

にぎわいます。ロープウェイで大師山に登り、城崎のまちを一望することもできます。

また、秋には、200年以上も前から続いているだんじり祭りが行われ、各所で繰り広げられる「せり」は迫力があります。

さらに、城崎には古くから**文人墨客**（詩や文章、書画などの文芸に携わる人）が訪れました。もっとも有名なのが「城の崎にて」を書いた**志賀直哉**です。温泉街にある「城崎文芸館」では、志賀直哉をはじめ、城崎温泉を訪れた作家の作品に親しむことができます。これから100年先もこの温泉文学を引き継ぐため、旅館の**若旦那**が本を出版する団体（NPO法人本と温泉）をつくり、城崎温泉街だけで買うことができる本を販売しています。



オリジナルタオルがセットの城崎裁判
提供：NPO 法人本と温泉

(2) どんなお客さんがやってくるの？

近年、海外で発売されている「ミシュラン・グリーンガイド」で、「寄り道をして訪れるべき場所」を意味する二つ星として掲載されるなど、このまちなみや過ごし方、文化にひかれ様々な国から、外国人観光客が訪れています（2014年は13877人、2015年には31442人）。日本国内からも、年間約60万人が**宿泊**に訪れます。

(3) まちを支えているものって何？

このように多くの観光客が訪れるまちは、旅館、ホテル、おみやげ物店等まちで働く人々とここでくらす人々が支えています。城崎には、「町は一つの旅館。駅はその玄関、道路は廊下で、旅館は客室、お土産物店は売店。」という考え方があり、城崎を訪れた人に楽しく気持ちよく過ごしてもらおうと、いろいろな工夫をしながらもてなします。旅館やホテルなどで働く人は、城崎地域の人だけでなく、近くの市や町からもたくさんやって来ます。

(4) どんな人がいるの？



1300年の歴史を誇る城崎温泉は、木造建築のまちなみや浴衣姿で町を歩く風情が評価され、今では世界各国からお客様が訪れています。これからも町全体で一丸となり世界に誇る城崎温泉を発信していきます。皆さんも自信を持って世界へ羽ばたいて欲しいと思います。



城崎温泉
旅館三木屋
片岡 大介 さん



辰鼓楼

(1) どんなところ？

出石地域は、「古事記」「日本書紀」にも名前が残る歴史の古い町です。江戸時代には5万8千石の城下町として但馬の政治・経済の中心地であり、但馬の小京都とよばれました。



出石皿そば

今でも歴史的なまちなみ残り、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。出石城跡をはじめ、但馬國一宮として知られる出石神社、宗鏡寺、辰鼓楼など様々な見どころがあり、中でも永楽館は、1901年に開館した近畿最古の芝居小屋で、2008年に44年の時を経て復活しました。今では、毎年片岡愛之助さん座頭の「永楽館歌舞伎」が行われ、大変な人気を博しており、その他にも落語や音楽イベントなど、文化・伝統芸能の発信拠点となっています。また、江戸時代から続く焼き物である出石焼は、純白の磁器に細やかな彫刻が美しく、国の伝統的工芸品に指定されています。出石は、関西屈指のそば処としても有名で、出石焼の白地の小皿に盛りつける独特のスタイルが特徴です。まちには約50軒もの皿そば店があり、「出石そば」は世界にも輸出されています。

(2) 今では？

観光資源が豊富な出石には、日本国内や世界中から多くの観光客が訪れており、2015年には約80万人もの人が訪れました。

1年を通じて観光客でにぎわう出石には、そば店などの飲食業、お土産物店などの小売業、ホテルなどの宿泊業しゅくはく、それらの仕入れ先の製造業・卸業おろしなど、観光に関連する多くの仕事があります。観光産業は21世紀の成長産業の1つとされており、出石でも、地域経済の活性化のために、さらなる観光客の誘客ゆうきやくに力を入れています。これからも、観光に関わる仕事の役割は益々重要になってきます。

(3) どんな人がいるの？

インタビュー



但馬國出石観光協会
専務理事
かとう つとむ
加藤 勉 さん

出石がどのように今のような観光地になったのかを教えてください。

出石は、古いものを守り続けているまちです。1965年頃出石に来ていただけるお客様は、ほとんどいませんでした。出石は鉄道の駅もなく町はさびれてきました。

賑やかな町にするために、昔の「お城」を建てようと地域のみんなで1968年に、お城を復元しました。その時に集まったお金は、当時のお金で2300万円でした。そして、お客様には何か食べるものが必要だということで、昔長野県の上田市からお殿様についてきた「そば職人」によって伝えられたという「そば」を出石の名物にしました。1965年のそば屋さんは2軒しかありませんでした。

町のシンボル時計台は「辰鼓楼」と言って高さ19.6mあります。町の人々はこの時計台より高い建物は建てないようにしようと言う気持ちがあり古い町が残りました。

また、江戸時代から守り続けている大名行列は、11月3日に「出石お城まつり」としてこうどう弘道小学校や出石中学校の1年生の皆さんの協力で行われ、毎年多くのお客様が楽しんでおられます。

将来を担う子どもたちにメッセージをお願いします。

出石の町はよく“あいさつ”をする町です。町の人と町に来たお客様がよく「こんにちは」と“あいさつ”をしているところを見るとすてきな一と思います。「また行ってみよう」と思う町はこんな「まち」ではないでしょうか。皆さんも、町に来られたお客様に気持ちのいい“あいさつ”をしてみてください。きっと、みなさん自身もすてきな気分になれると思いますよ。

3. 四季を通じて自然体験やスポーツを楽しめる神鍋高原

神鍋山
提供：ALEX JAPAN



夏の神鍋山山頂（トレッキング）

(1) どんなところ？

神鍋高原は、日高地域に位置し、標高約469mの神鍋山などがあり、四季を通じて、自然を活用したいろいろな体験活動やスポーツを楽しむことができます。

(2) どんな体験ができるの？

春は、長い冬から解放された草花の息吹を感じながら、山菜採りやニジマス釣りなどができます。溶岩の上を流れる川沿いの滝を見ながらのトレッキングは、春から夏にかけて、とてもさわやかで心地いいひと時を味わうことができます。

夏は、パラグライダーや、ゴルフ、テニスやキャンプなど、子どもから大人までいろいろな人が楽しむことができます。また、高原ならではの夏のすずしい気候がスポーツに適しているため、中学生や高校生、大学生の合宿などたくさんの学生が神鍋高原を訪れます。

秋は、濃い緑だった山々が色づき、紅葉めぐりや、写真撮影などを楽しむ観光客が多く

訪れます。紅葉をめぐるウォーキングイベントもとても人気があるイベントです。

冬は、雪が積もりやすく、スキーやスノーボードができます。西洋かんじきと言われるスノーシューを足に付けて、気軽に雪上の世界を楽しむこともできます。



冬の神鍋山山頂（スノーシュー）

(3) 火山の恵み

火山は噴火すると、火山の灰が降ったり、溶岩が流れ出たりして、人間の生活に被害を与えます。しかし、自然の恵みも与えてくれます。

噴火口が残る神鍋山は、2万5千年前の火山の噴火でできたと考えられている山です。稲葉川に沿って流れ下った溶岩は、数々の滝など現在の美しい風景を作り出しました。

火山の噴火で出来た“スコリア”（赤褐色でゴツゴツした穴の多い岩石）が積もった神鍋山では、雨や雪がしみ込んで地下水となり、山のふもとで湧き出した水が、ニジマスの養殖やわさびの栽培に使われています。

また、高原野菜の栽培に適した土地にもなっています。噴火の時に降り積もった火山灰と有機物が混ざり合っ
て、栄養分が豊富な土（クロボク土）となっています。さらに、寒暖差が大きいことから、激しい寒さに負けまいと野菜などが糖分をたくわえるので、美味しい高原野菜や果物ができます。神鍋のキャベツやスイカ、りんご、ブルーベリーなどがその例です。

このように、神鍋高原では、“火山”の地形や地質を通じて、植物や生物、人々のくらしが繋がっています。



スコリア



キャベツ畑

(4) どんな人がいるの？

インタビュー



NPO 法人かなべ自然学校
校長
前田 敦司 さん

あそびの中に
学びがある

私の仕事は、神鍋高原の自然の中でできる楽しい遊びをめいっぱい共有することです (^^)

中学卒業後、10年ほど豊岡を離れ気付いたのですが、子どものころ、当たり前で遊んでいた神鍋高原には、都会では感じることのできない大切なコトがいっぱいありました。

いい風が吹き、いい雪が降る。日の出や星空を眺めながら思いにふけり、昼間はめいっぱい自然遊び。

都会には都会の良さが、故郷には故郷の良さがあると思っていますが、自分の好きなこと、楽しいことを仕事にする！豊岡市はそんな事を実現できる場所だと思いますよ (^^)



ジオカヌー

(1) どんなところ？

竹野地域は、豊岡市の北西部に位置し、日本海に面した地域です。まちの中央を流れる竹野川が海と山をつなぎ、人々の暮らしと深く結びついています。この自然と共生した暮らしの中で、農業、林業、畜産業、漁業、廻船業などの生業が営まれてきました。つまり、竹野地域は、山、川、里、海と密接に関わりあっている地域だといえます。

竹野川とその支流周辺では、稲作を中心とした農業が、山間部では林業や畜産業が営まれてきました。但馬地方で生まれた但馬牛は、全国の和牛の素牛であり、その貴重な血統の一つ（よし蔓）が今も竹野地域に残っています。

一方、竹野海岸は、変化に富んだ地形に多様な生物が生息しています。小型船等を使っ



磯見漁



ワカメ干し

提供：JiRo

て刺し網、はえ縄、磯見、一本釣り、定置網、イカ釣りなどの漁法による沿岸漁業が営まれ、四季を通じて様々な海産物が水揚げされています。

また、竹野海岸には、日本でも屈指の透明度を誇る海水浴場があります。特に竹野浜は、「日本の渚百選」、「快水浴場百選」にも選定されています。夏には多くの海水浴客が訪れ、宿泊業を中心とした観光業が営まれてきました。しかし、1995年をピークに観光客が減少し始めました。

(2) 今では？

そうした状況の中、2010年に竹野海岸を含む山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟認定されました。これをきっかけに、ジオパークの資源を活かしたジオカヌーなどのアクティビティが生じ、ダイビング、スノーケルなどとともに海水浴以外の新たな魅力を創出しています。

このように山・川・里・海の自然と密接に結びついた生活を営むことができるのが竹野地域の魅力と言えるでしょう。

(3) どんな人がいるの？

インタビュー



竹野港で働く人たち

私たち漁師は、海に出かけいろいろな海産物を捕って市場に販売する仕事です。

漁港では、海産物の直売もしています。

漁師仕事は大変ですが、魚を食べた人に「美味しい！」と言って頂くことでやりがい

を感じています。

そんな魅力あふれる竹野を是非見に来てください。



猫崎半島



日本モンゴル民族博物館

(1) 但東ってどんなところ？

但東地域は、モンゴルと交流を続けているまちです。但東が、モンゴルの人たちと交流を始めたのは今から約30年前のことです。^{きぬおりもの}絹織物業が盛んだった但東は「シルクロードのまち」として^{ちいきしんこう}地域振興に取り組んでいました。このことが、日本国内でモンゴルについて研究する学生さんたちの目にとまり、地域の方がこの学生さんたちといっしょに現地へでかけたことが、モンゴルと但東の交流のきっかけとなりました。

さらに但東地域にある「シルク温泉」は、お肌^{はだ}がシルクのような艶肌^{つや}になることから“美人の湯”と言われ、その外観はモンゴルの伝統的な移動式住居「ゲル」をイメージしています。

また、毎年4月に開催^{かいさい}している「たんとうチューリップまつり」や夏の「ひまわり」、秋の「ドウダンツツジ」など、四季折々に花のイベントが開催されています。



たんとうチューリップまつり



シルク温泉

(2) モンゴルとどんな交流があるの？

1994年には「森と砂漠^{さばく}を結ぶ国際シンポジウム&音楽祭」を8日間にわたって開催^{かいさい}しました。このとき、モンゴル国バヤンホンゴル県ボグド郡と友好盟約を結んだほか、青

森県に住んでいた個人の方から約1万点にのぼるモンゴル民族資料の寄付を受けました。これが、1996年にオープンした日本・モンゴル民族博物館のもと



民族楽器



大相撲 横綱鶴竜の来館

になっています。また、使節団の派遣とモンゴル国研修生の受入れを毎年交互に行うようになったほか、モンゴルの芸術家を博物館へ招いての創作活動支援やモンゴルで発生した自然災害への援助活動などの国際交流を行ってきました。2005年の市町合併により現在の豊岡市となって以降も、モンゴルとの交流は引き続き博物館を拠点に行っています。

(3) 今では？

日本国内でモンゴルが知られるようになったのは、なんといっても大相撲におけるモンゴル出身力士たちの活やくによるところが大きいです。騎馬民族を祖先にもつモンゴルの人たちの身体能力はもともと高く、伝統的なモンゴル相撲できたえられた強い体で、幕内出世する力士も多く、大相撲界でよい成績をおさめています。それだけにとどまらず、柔道やレスリング、ボクシング、マラソンなど、いろいろな競技においても、モンゴルアスリートたちの活やくは2020年東京オリンピックへ向けてますます期待されるどころです。豊岡市では、今後はスポーツの分野でもモンゴルとの交流を深めていきたいと考えています。



市民みんなのパレード

(4) どんな人がいるの？

インタビュー



豊岡市国際交流協会
事務局職員
豊岡市但東町 在住
ジャルガルサイハン・
ラマー さん

豊岡市但東町が、日本の国内外に誇れるもののひとつに「日本・モンゴル民族博物館」があります。ことなる環境で生きる他者を写し鏡として、わがふるさとをかえりみることで、そして、世界の中で自分の生き方を見出し、さらにみがきをつけること——。豊岡市がこのような身近に世界とつながっているというチャンスをおおいに楽しみ、おおいに活かしていくことを願っています。

第3章 新しい命が宿され、 まちの魅力となったもの

人がくらす地域には、それぞれの場所で先人から受け継がれてきた地域の自慢できる宝物があります。

豊岡では、現在のくらしの中で、古いものを守って活かし、新たな価値を加えて次の世代に受け継いでいこうという動きがあります。古いものには昔の人たちの知恵や技術、思いがたくさん詰まっています。そして、それを大切に作る人たちの気持ちも受け継がれていきます。

1. 近畿最古の芝居小屋の復活～永楽館～

1901年に開館した芝居小屋 永楽館。

テレビやパソコン、映画もなかった昔は、まちの芝居小屋で、歌舞伎や芝居、落語などの演芸を見ることがみんなの楽しみでした。

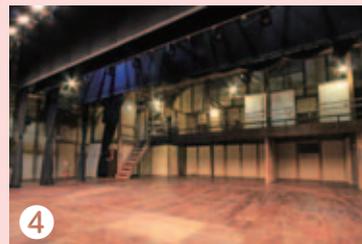
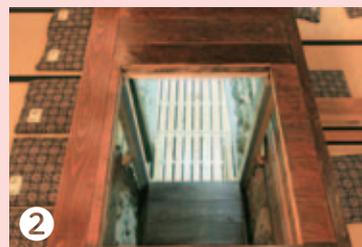
そのころに建てられたのが永楽館です。明治から昭和の中期にかけて出石のまちの人たちに親しまれていましたが、テレビの時代に入り閉館してしまいました。

長い間そのままになっていましたが、古い建物を保存して活用しようというまちの人たちの動きが始まり、2008年7月に復原工事が完成し、よみがえりました。近畿で一番古い芝居小屋です。

永楽館にはこんな仕掛けが…

昔のままの人の力で動かす廻り舞台やセリ、すっぽん、花道、奈落、昭和の時代の広告看板など、技術や工夫を凝らして歌舞伎や芝居が作られていた当時のままの姿を見ることができます。そして、すごいのは、見るだけではなく、実際に使うことができるのです。

また、この復原工事は、地元の会社の大工さんの技が活かされました。古いものを守る技が豊岡に受け継がれています。



①セリ ②すっぽん ③奈落・廻り舞台内部 ④廻り舞台

復原された「永楽館」の柿落から毎年、歌舞伎役者「片岡愛之助」さんを座頭に歌舞伎が公演されています。



片岡愛之助さん

【屋号】松嶋屋

【定紋】追いかけ五枚銀杏

数少ない関西在住の歌舞伎俳優。1981年12月「片岡千代丸」を名乗って京都南座で初舞台。1992年1月6代目片岡愛之助の名跡を襲名。今や次代を担う人気花形へと成長を遂げて、東西の劇場で活躍している。



P.75・76

【第7回永楽館歌舞伎（2014年）】

コウノトリにちなんで、ついに新作の歌舞伎『神の鳥』が作られ、上演された。

『神の鳥』でコウノトリを演じる片岡愛之助さん（2014.11）

提供：松竹株式会社

300人の規模の小さな芝居小屋なので、舞台と客席が近く、役者の表情や汗、迫力ある動きを真近で見ることができるので、毎回お客さんでいっぱいになります。世界に誇れる日本の伝統文化である本格的な歌舞伎公演を東京や大阪、京都、名古屋以外のまちで定期的に見られるまちは限られています。豊岡はその1つです。



但馬國立いずし落語笑学校第5回永楽館寄席わいわい亭（2013.10）
提供：出石永楽館

歌舞伎公演だけでなく、市民劇団の公演やシンポジウムなどにも使われています。公演などが無い時は、館内を見学することができ、出石の観光スポットとしても人気があります。

歌舞伎公演だけでなく、市民劇団の公演やシンポジウムなどにも使われています。公演などが無い時は、館内を見学することができ、出石の観光スポットとしても人気があります。

Before



「永楽館」の名前の由来

最初に永楽館を建設した小幡家11代目久治郎さんが、出石藩主の家紋である「永楽通宝」からその名をつけたといわれている。その名のとおり、「永く楽しむ館（やかた）」として地元の人たちに愛される施設となるよう願うものである。

After



（兵庫県指定重要有形文化財）

世界中からアーティストが集まる 城崎国際アートセンター

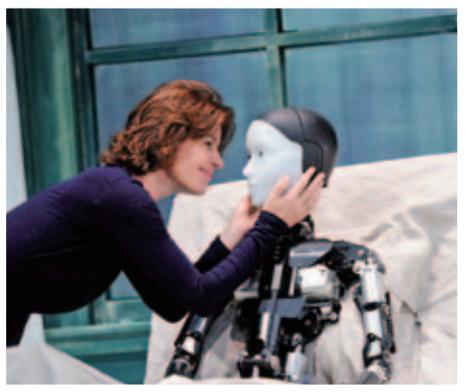


PACIFIKMELTINGPOT 滞在制作・研究
提供：igaki_photo_studio



城崎国際アートセンター
提供：Madoka_Nishiyama

城崎にある「城崎国際アートセンター」は、豊岡市が兵庫県から譲り受けた古い建物を改修して、新たに2014年にオープンした施設です。演劇やダンスなどの舞台芸術のアーティスト（芸術家）の滞在制作の場、つまり合宿しながら作品を作る場所です。滞在制作の場を「アーティスト・イン・レジデンス」と



アンドロイド版『変身』
提供：Madoka_Nishiyama

言いますが、舞台芸術用としては日本最大級の施設です。

芸術監督には、日本を代表する劇作家であり演出家の平田オリザさんが就任されています。



平田 オリザさん
提供：青木司

ここには、世界各国から選考に受かった優れたアーティストがやってきて、最先端の作品を作っています。滞在アーティストは、作品の試演会やトークショー、ワークショップなどの「地域交流

プログラム」を必ず開催^{かいさい}しています。豊岡市民は、制作中の作品に世界に先駆^がけて真っ先に触^ふれることができます。

また、城崎国際アートセンターでは、オリジナル作品の制作にも取り組んでいきます。出来上がった作品は豊岡市で初演を行った後、各地で上演されていきます。

豊岡市は、舞台芸術の分野においては、世界の人々と直接つながっているのです。



城崎温泉ダンス旅
提供：igaki_photo_studio



Kinosakinomatopee
提供：igaki_photo_studio

インタビュー



城崎国際アートセンター館長兼
広報・マーケティングディレクター
田口 幹也 さん

皆さんは、城崎国際アートセンターにいらしたことがありますか？

城崎国際アートセンター芸術監督の平田オリザさんは、2016年度プログラムという冊子^{さつし}でこんなことを書いておられます。

『「世界には、こんな不思議なことを考える人たちがいる」、豊岡に育つ子どもたちが、日々、そのことを感じられる施設であることが、城崎国際アートセンターの目標で

す。』まだ価値が定まりきってない、最先端の取組がここでは日々行われています。

新しい表現^{ちようせん}に挑戦している場所、想像力を思いっきり発揮^{はつき}している瞬間に、皆さんふれてもらえればと思っています。色々な“不思議な考え方”をする人を知ることは、きっと皆さんの将来の役に立つことになるとしています。

ぜひ、城崎国際アートセンターに気軽に遊びに来てください。

地域交流プログラムの他にもダンスのワークショップ（教室）などもやっていますよ。

お待ちしております。 <http://kiac.jp>



1925年5月23日に発生した北但大震災により、豊岡や城崎は大きな被害^{ひがい}をうけました。豊岡では、大開通り^{だいかい}沿いの建物がたくさん被災し、その後に建てられた建物が現在でも復興建築群として残っています。



大開通り周辺には、窓や壁に工夫^{まど かべ}を凝らした建物や、ふれあい公設市場、青空市場など長い間親しまれているくらしの中の風景がたくさん残っています。

近年、大きな災害が日本各地で起こっています。豊岡でも90年以上前にまちが壊滅^{かいめつ}しましたが、みんなの力で復興したことを象徴^{しょうちゆう}する建物として守っていくと同時に、市民が語り継ぐことで、各地の被災地のみなさんに、未来に向けての勇気を与えることができるのではないかと思います。



(1) もとは市役所 「豊岡稽古堂」

1927年、旧豊岡町役場として建てられ、その後豊岡市役所の本庁舎として2011年まで利用していたのが、現在の「豊岡稽古堂」です。当時は郵便局、警察署、税務署、消防署なども周り（現市庁舎の敷地内）に配置され、公的機関が集まっていました。

2005年に新豊岡市が誕生し、新しい市庁舎の建設に当たって保存するかどうか検討された結果、受け継がれてきた豊岡の歴史・文化を大切にするという理念のもと、場所を動かして保存・活用することになりました。

現在の建物は、免震化工事を施し、2013年8月から1・3階を市民の交流スペース、2階を議場として利用しています。

(2) もとは銀行「豊岡1925」

豊岡稽古堂より少し後、1934年に旧兵庫縣農工銀行豊岡支店として建てられたのが、現在の「豊岡1925」です。長い間金融機関として使われてきましたが、市町合併時に庁舎として利用するために市が取得し、新庁舎ができるまで南庁舎別館として使用した後、2014年にまちなかの新しい交流施設として生まれ変わり、レストランや宿泊施設として活用されています。



現在：豊岡稽古堂



旧豊岡町役場



旧豊岡市役所

「豊岡稽古堂」

1928年	1月24日 竣工 当時は2階建 旧豊岡町役場
1952年	3階部分増築 旧豊岡市役所
2013年	曳屋移動・改修工事 豊岡市立交流センター「豊岡稽古堂」
2016年	8月1日 国登録有形文化財

トピックス

『曳家工事』

豊岡稽古堂は、建物を持ちあげて下にレールを敷き、元あった場所から約25m5日間かけて南に移動させました。前作業から後作業まで約7か月間を要しました。



現在の外観



現在の内部

「豊岡1925」

1934年	建築 当時旧兵庫縣農工銀行豊岡支店 (市が取得する前の直前は山陰合同銀行豊岡支店)
2005年	豊岡市役所南庁舎別館
2006年	11月29日 国登録有形文化財
2014年	4月 豊岡市立まちなか交流館「豊岡1925」

名称の由来：1925年当時の豊岡の人々の「夢」に思いを馳せる

地域の資源を 守って活かすひとたち

1. 資源を活かして山を守る

豊岡市は、市の面積の約8割^{わり}が森林です。私たちが毎日見ている山は、昔から私たちの暮らしを支えてくれる大切な場所です。



トピックス 一人が山に入ること

日本の各地で1970年頃までは、山から薪をとってきて、ごはんを炊いたり、お風呂を沸かしたり、冬の暖房に使ったりしていました。また、現在でも春には山菜、秋にはきのこや栗などの山の幸を楽しんでいます。薪や炭などに使う木や植物は、自然に成長するので、山を適切に管理すればずっと使うことができます。

しかし、今、私たちが使っている燃料は、ガス、石油、電気です。これらは化石燃料といっこのままのペースで人間が使い続けるとやがてなくなってしまおうとされています。

近年、シカやイノシシが畑や田んぼに出てきたり、道路で見かけたりすることが増えました。

これは全国的に大変な問題になっています。人が山に入ることが激減し、その影響の一つとして、シカなどの野生動物が人里に出てきて、農作物などを食べるようになり、数が急激に増えました。その結果、里では農作物の被害が増え、山では下草や、木の幹が食べられて地肌がむき出しになったり、木が枯れて倒れたりして、土砂災害の危険が増しています。

人間の生活様式が変わり、山と人との関係が薄れたことでいろいろな問題が起こってきているのです。

(1) 山を守ってくらしを守る森林組合

個人で山の管理をするのはたいへんです。そこで、共同で山の管理をするために、森林組合があります。木は生きものです。植えたら、^{した}が^{かん}ばつ^つを下刈りや間伐をしながら、光が入る明るい山を維持しないと良い木が育ちません。

また、木が育つ何十年の期間を考えながら、^ぼっ^{さい}と^{しょ}くりん^んを伐採と植林を順番に行っていくことも必要です。山の作業は、重労働で手間がかかりますが、最近では、枝を払って一定の長さにそろえる作業が機械化されるなど、安全で効率的に木を切り出すことができるようになりました。

木を切り出す



チェーンソーで伐採



同じ機械で枝払いと切断

山の資源を有効に使うと同時に、災害からもくらしを守るための仕事は、周りを山に囲まれる豊岡にとっては大切な仕事です。

【北但東部森林組合】

豊岡市域をエリアとし、組合員数 約 6700 名
豊岡の山を管理する専門の作業員 約 40 名

(2) 炭を安全に短時間で製造する会社

昔は炭を作るためには3日間かけ、冷やして取り出すのに8時間かかっていましたが、^{れい}き^{やく}^{そう}^ち冷却装置を工夫することで、冷却にかかる時間を大幅に^おお^はば^たん^{しゅ}く^く短縮し約3分で炭のかき出し作業ができるようになりました。

この方法だと、安全な上に、手間が省け、量産することができ、仕事として利益を得ることが可能になりました。

炭を焼く 提供：神鍋白炭工房(株)



山から木を切り出す



炭焼き



炭の利用



2. 暮らしを豊かにする文化を守る

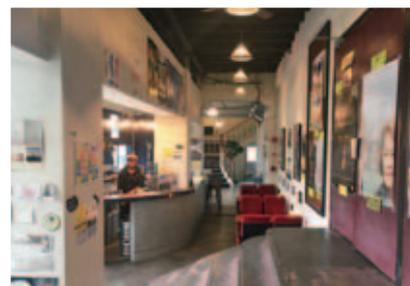
～豊岡劇場の再生～

豊岡劇場（通称：豊劇）は、1927年に芝居小屋として始まり、社交ダンス場、戦争中は倉庫、その後は映画館として、地域の人々に親しまれてきました。

しかし、ビデオやインターネットなどデジタル機器の発達で、映画館で映画を見る人たちが少なくなり、2012年3月末に閉館しました。閉館したときは、但馬に残る最後の映画館でした。

閉館後、豊岡の大衆文化のシンボルであった豊岡劇場を再び地域の文化の拠点にしたいと立ち上がった人が、協力者や寄付金を集め、映画上映に加え、映画館を活用した新しい場所として、2014年12月に「CINEMACTION豊劇—豊岡劇場—」として再生させました。

このプロジェクトは、たくさんの方の協力によって成り立ち、運営は民間の会社が担っています。古いものを守りながら、今の暮らしを豊かにする仕事は、豊岡の未来に必要です。



提供：CINEMACTION 豊劇 - 豊岡劇場 -

インタビュー



CINEMACTION 豊劇
—豊岡劇場—

CEO
石橋 秀彦 さん

中学校まで日高で過ごし、卒業後、単身北アイルランドに渡り、芸術を勉強しました。きっかけは、豊劇で映画を見て、「映画監督になりたい」と思ったことです。映画監督にはなりませんでしたが、豊岡の人たちの日常に豊かさをもたらしてくれていた場所「豊劇」が閉館することになったとき、「豊岡を出て勉強したことがふるさとで活かせるのではないか」と、豊劇の再生に取り組みました。身近なもの価値を見直し、日常生活の中で本当の豊かさを見出していきたいです。

3. 食文化を守って活かす

出石そば

今から300年以上前、江戸時代の中期に、出石藩の藩主松平氏と信州上田藩の仙石氏がお国替えとなりました。

その時に、仙石氏といっしょに信州から来たそば職人の技法が出石のそば打ちの技術に加えられ、「出石そば」が誕生したと言われています。

今のように、小さい皿にもって提供する形になったのは、江戸時代の終わりごろで、当時、屋台で出すときに便利な手塩皿にもったのが始まりと言われています。

その後、出石焼が始まり、白地の小皿を使うようになり、独特のスタイルが定着しました。

現在、出石には約50軒のそば屋があり、関西でも屈指のそば処となっています。1960年代までは、地元で取れるそば粉を使っていたため、秋に新そばが取れてから冬にかけて、地元の人向けのそば屋が数軒あるのみでした。当時は絹織物業が最盛期でしたが、1970年代から衰退、代わってまちのシンボルである辰鼓楼周辺の古い町並みが人気となり、出石は観光のまちとして有名になりました。

そして、観光客の増加に比例してそば屋も増えていき、現在では出石の観光になくてはならない名物となっています。

出石皿そば

地域団体商標登録 2011年

出石皿そばの特徴

小皿に盛りつけたそばを徳利に入ったダシをそばちょこに入れ、薬味をそえて食べます。五枚で一人前です。



インタビュー



そば打ち職人
手打出石皿そば 登城
竹中 光成 さん (右端)

高校生のとき、親戚の出石そば屋さんでアルバイトをしました。初めて食べた出石そばのおいしさを今でも覚えています。身近にある自然の中でできることがたくさんあったので、豊岡を出ようと思ったことはありません。縁があって出石そば屋さんで修行をし、独立して自分の店を持ちました。従兄弟と家族といっしょに、やりがいと充実感を感じながら仕事をしています。

トピックス

お菓子のルーツと豊岡

■お菓子の神様 田道間守の話



天日槍の玄孫にあたる田道間守は、「常世の国に行って、食べるといつまでも長生きができるといわれる『ときじくのかぐのこのみ（非時香菓）』をもって来る」よう垂仁天皇に命令されました。長い年月をかけ、命がけで荒波の航海を終え、やっとのことで『ときじくのかぐのこのみ』を持ち帰りましたが、すでに天皇は亡くなっていました。そのことを知った田道間守は嘆き悲しんで天皇のお墓の近くで亡くなりました。田道間守をあわれんだ景行天皇は、垂仁天皇陵の近くにお墓を作ったとされています。

田道間守が常世の国から持ち帰ったのは、今で言う橘（みかんの種類）で、昔の人にとって最上級の果物（今のお菓子にあたるもの）を持ち帰った田道間守は、お菓子の神様として祀られるようになりました。



橘（たちばな）

■中嶋神社

田道間守のふるさとである豊岡には、田道間守を祀った中嶋神社があります。毎年4月の第3日曜日には、菓子祭が開催され、お菓子の会社や関係者が全国からお参りに集まります。

この時には、地元の神美小学校の子どもたちが「文部省唱歌・田道間守の歌」を奉納しています。

また、2011年からは、市の中心部の大開通りで前日祭が開催され、多くの来場者で賑わいます。

文部省唱歌・田道間守の歌

- 1 香りも高い橘を 積んだお船が今帰る
君の仰せをかしこみて 万里の海をまっしぐら
今帰る 田道間守 田道間守
- 2 おはさぬ君のみささぎに 泣いて帰らぬ真心よ
遠い国から積んで来た 花橘の香と共に
名は香る 田道間守 田道間守

中嶋神社（豊岡市三宅）

1300年以上前、7世紀後半、推古天皇の時代に建てられたと伝えられています。神社の名前は「田道間守命」のお墓が垂仁天皇陵の池の中に、島のように浮かんでいることに由来するといわれています。



ドクターヘリ・ ドクターカーによる 救急医療体制は日本一

公立豊岡病院組合立豊岡病院では、北近畿エリア唯一の救命救急センターとして、「但馬救命救急センター」を運営しています。

2010年4月から、ドクターヘリ、同年12月からドクターカーを配置し、医師22名（2016.4現在）、看護師などのス



提供：公立豊岡病院組合



提供：公立豊岡病院組合

タッフが鳥取、兵庫、京都の3府県の住民の安心安全のために働いています。救急隊からの救急要請には絶対応需を基本姿勢とし、「いつでも、どこでも、誰にでも」迅速かつ良質な救急医療を提供出来るよう努力されています。

その結果、2015年度には、それぞれ年間で1700件以上の要請に対応し、全国屈指の出動実績を誇っています。

ドクターヘリ、ドクターカーの運行により、消防署が119番の通報を受けてから医療を行う（又は病院収容）までの時間が、大きく短縮され、命を助けることができる確率が向上しています。

ほとんどが山間部の北近畿エリアは、陸路では患者の搬送に時間がかかる場合があります。しかし、ドクターヘリを使用した救急医療体制が整っているため、豊岡は、救急医療については、たくさん病院のある大都会と同じくらい安心安全な環境にあると言えます。

2014年 119番通報から病院に収容するまでにかった平均時間



※ 2014年中の実績について、豊岡市消防本部まとめ（ヘリ・カーは豊岡消防本部管内のみ）

※ 覚知から病院収容までの時間、又は医師への引継ぎまでの時間

ご協力いただいたみなさま

(順不同、敬称略)

ジオパーク

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 助教 松原典孝

豊岡市ジオパーク普及啓発専門員 三木武行

【メッセージ】

世界ジオパークネットワーク 会長 ニコラス・ゾウロス

【ガイド紹介】

NPO法人玄武洞ガイドクラブ

城崎案内人 四角澄朗

(株)北前館 統括部長 能登克之

コウノトリ

兵庫県立コウノトリの郷公園、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科、コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(IPPM-OWS)、兵庫県但馬県民局地域づくり課、NPO法人コウノトリ市民研究所、コウノトリ湿地ネット、日本コウノトリの会、高橋信、荒川秀夫、総合地球環境学研究所 准教授(元兵庫県立コウノトリの郷公園 研究員)菊地直樹、中村英夫、(財)大阪府文化財センター、早川和子、奈良文化財研究所、京極高晴、有会社 坂本屋、読売新聞社、富士光芸社、(株)神戸新聞社、JAたじま、滋賀県、新潟県佐渡市、松本逸朗、愛媛県西予市、NHK、兵庫県立コウノトリの郷公園 初代研究部長 池田啓(2010年亡)

【インタビュー】

コウノトリおっかけたいのみなさん

兵庫県立コウノトリの郷公園 主任飼育員 船越稔

コウノトリ湿地ネット 事務局長 森薫

NPO法人コウノトリ市民研究所 主任研究員 北垣和也

元コウノトリ飼育長(市立コウノトリ文化館名誉館長) 松島興治郎

郷土史家 中村英夫

兵庫県立コウノトリの郷公園 園長 山岸哲

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科長(兵庫県立コウノトリの郷公園 統括研究部長) 江崎保男

農家 成田市雄

コウノトリ生息地保全員 宮村良雄

宇和コウノトリ保存会 会長 楠健明

コウノトリと共に育つコメ作りグループ 代表 野村重嘉

トヨン和尚

コウノトリ湿地ネット 代表(日本コウノトリの会) 佐竹節夫

産業・文化

出石永楽館、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、神鍋白炭工房(株)、城崎温泉駅前「インフォメーションカウンター」、公立豊岡病院組合、松竹(株)、(一財)但馬地域地場産業振興センター、東海バネ工業(株)豊岡神美台工場、(株)東豊精工、中田工芸(株)、(株)ビトーアールアンドディー、北但東部森林組合

【インタビュー】

かみや民芸店 神谷俊彰

たくみ工芸 寺内卓巳

(株)ケイ・ディー 代表取締役社長 由利佳一郎

虹洋陶苑 山本和則

城崎温泉旅館三木屋 片岡大介

但馬国出石観光協会 専務理事 加藤勉

NPO法人かなべ自然学校 校長 前田敦司

竹野港で働く人たち

豊岡市国際交流協会事務局職員 ジャルガルサイハン・ラマー

城崎国際アートセンター館長兼広報・マーケティングディレクター 田口幹也

CINEMACTION豊劇-豊岡劇場- CEO 石橋秀彦

手打出石皿そば登城 竹中光成

豊岡市ふるさと学習ガイドブック

2017年3月 発行

編集・発行 豊岡市



6000部作成のための
総排出量6514Kg-CO₂
この印刷物から発生するCO₂はカーボン・オフセットジャパン(www.co-j.jp)を通じてオフセットされています。

この印刷物(冊子)は、自然環境に配慮して、FSC®認証材を一部使用した紙にベジタブルインキで印刷しています。又、この印刷物を作成した際に関わった1部あたりのCO₂排出量1085gは、カーボンオフセットジャパン(www.co-j.jp)を通じてオフセットされ、地球温暖化防止に貢献します。